

Anti-Trust Policy Notice

- Linux Foundation meetings involve participation by industry competitors, and it is the intention of the Linux Foundation to conduct all of its activities in accordance with applicable antitrust and competition laws. It is therefore extremely important that attendees adhere to meeting agendas, and be aware of, and not participate in, any activities that are prohibited under applicable US state, federal or foreign antitrust and competition laws.
- Examples of types of actions that are prohibited at Linux Foundation meetings and in connection with Linux Foundation activities are described in the Linux Foundation Antitrust Policy available at <http://www.linuxfoundation.org/antitrust-policy>. If you have questions about these matters, please contact your company counsel, or if you are a member of the Linux Foundation, feel free to contact Andrew Updegrove of the firm of Gesmer Updegrove LLP, which provides legal counsel to the Linux Foundation.

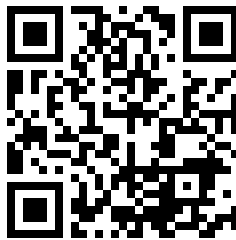
【参考】独占禁止法順守ポリシー (Antitrust Policy)

- Linux Foundation (以下LFと略す) の会議は、産業界で競合関係にある企業同士の参加が不可欠です。LFは、すべての活動を、適用されるべきすべての独占禁止法/競争法に則って運営します。従って、会議の出席者は、アジェンダに沿って会議を進め、国内外の独占禁止法/競争法の下で禁止されているいかなる活動にも参加しないよう、注意を払うことが非常に重要です。
- LFの会議において、またLFの活動に関連して、禁止されている行動の例は、<https://www.linuxfoundation.jp/antitrust-policy/> から入手できるLF独占禁止法順守ポリシーに記載されています。これらの事項について質問がある場合は、あなたの会社の法律顧問に問い合わせるか、もしあなたがLFのメンバーであるならば、LFの法律顧問である Gesmer Updegrove LLP の Andrew Updegrove にお問い合わせください。



Code of Conduct

- The Linux Foundation and its project communities are dedicated to providing a harassment-free experience for participants at all of our events, whether they are held in person or virtually. Linux Foundation events are working conferences intended for professional networking and collaboration within the open source community. They exist to encourage the open exchange of ideas and expression and require an environment that recognizes the inherent worth of every person and group. While at Linux Foundation events or related ancillary or social events, any participants, including members, speakers, attendees, volunteers, sponsors, exhibitors, booth staff and anyone else, must not engage in harassment in any form.
- This Code of Conduct may be revised at any time by The Linux Foundation and the terms are non-negotiable. Your registration for or attendance at any Linux Foundation event, whether it's held in person or virtually, indicates your agreement to abide by this policy and its terms.



【参考】行動規範 (Code of Conduct)

The Linux Foundation とその傘下のプロジェクトは、わたしたちのすべてのイベントにおいて、参加者が人権侵害や差別を受けることのないよう努力しています。The Linux Foundation (および LF プロジェクト) のイベントは Linux コミュニティにおける専門家間の交流とコラボレーションをめざした作業会議です。そして、アイデアや感想のオープンな交換を奨励し、あらゆる人々や集団が持つ価値を認める環境を要求します。そして、アイデアや感想のオープンな交換を奨励し、あらゆる人々や集団が持つ価値を認める環境を要求します。

求められる行動

すべてのイベント参加者は、プロフェッショナルの基準、The Linux Foundation の行動規範、さらには各自の所属組織が定める適切な勤務態度に関するポリシー、および適用可能な法律に従って行動することが求められます。

容認できない行為

性、性同一性、性表現、性的指向、障害、容姿、体格、人種、年齢、宗教などによるハラスメントはもとより、カンファレンスやプログラムが開催される国や地域の法に保護された地位や立場によるハラスメントなど、いかなる形のハラスメントも容認されません。また、虐待的、攻撃的、または屈辱的表現の使用、脅迫、ストーキング、嫌がらせの写真や記録、不適切な物理的接触、性的画像、および迷惑な性的誘惑、または性的行為の要求などもハラスメントとみなします。わたしたちは、わたしたちのイベントにおけるあらゆるハラスメントに迅速に対応いたします。ハラスメント行為の停止を求められた参加者は、その要求に速やかに従ってください。容認できない行為の目撃者や被害者は、すぐにカンファレンス主催者にお知らせください。

展示者は、性的画像、アクティビティ、またはその他の素材をブースで使用するべきではありません。また、性的な服装/制服/衣装の使用、あるいは性的環境の作成を行ってははいけません。講演者はその講演において、性的な表現、画像、あるいは、上で定義されているハラスメントの要素となるあらゆる表現や画像を使用するべきではありません。

<https://www.linuxfoundation.jp/code-of-conduct/>

【参考】行動規範 (Code of Conduct)

容認できない行為が招く結末

参加者がハラスメント行為に関与している場合、カンファレンス主催者は、違反者への警告やカンファレンスからの追放など、状況に応じて適切と思われるあらゆる行動をとります。返金処理は行いません。The Linux Foundation (および LF プロジェクト) は、今後行われるすべての Linux Foundation (または LF プロジェクト) イベント、トレーニング、およびその他の活動からハラスメント行為に関わる参加者を排斥する権利を有します。

容認できない行為の目撃者や被害者が行うべきこと

ハラスメントを受けている当事者やハラスメント行為の目撃者、または懸念事項をお持ちの方は、[OpenChain Japan Planning代表] に速やかにお知らせください。

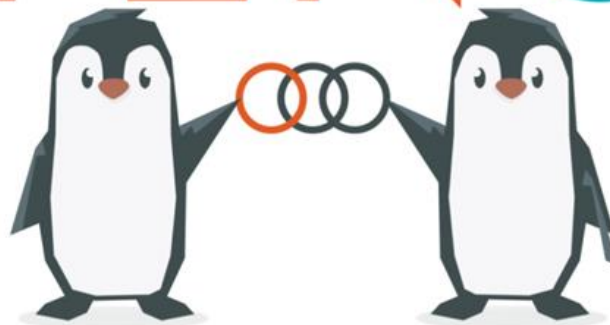
OpenChain Japan Planning代表：

- Shane Coughlan(Man, English) : scoughlan@linuxfoundation.org
- 渡邊歩(Woman, Japanese) : awatanabe@evangelist.linuxfoundation.org

事故対応

ハラスメントの報告を受けた場合は、Ada Initiative (Geek Feminism Wiki の[こちら](#)を参照) が推奨するプロセスに従ってこれに対応します。前述のように、参加者がハラスメント行為に関与している場合、カンファレンス主催者は、違反者への警告やカンファレンスからの追放など、状況に応じて適切と思われるあらゆる行動をとります。返金処理は行いません。The Linux Foundation (および LF プロジェクト) は、今後行われるすべての Linux Foundation (または LF プロジェクト) イベント、トレーニング、およびその他の活動からハラスメント行為に関わる参加者を排斥する権利を有します。

<https://www.linuxfoundation.jp/code-of-conduct/>



BUILDING TRUST IN THE SUPPLY CHAIN SINCE 2016

OpenChainプロジェクト紹介

2025.8.1

OpenChain Japan Work Group

目次

- OpenChain プロジェクトの紹介
- OpenChain Japan WGの紹介
- OpenChain Japan WG 教育SGについて

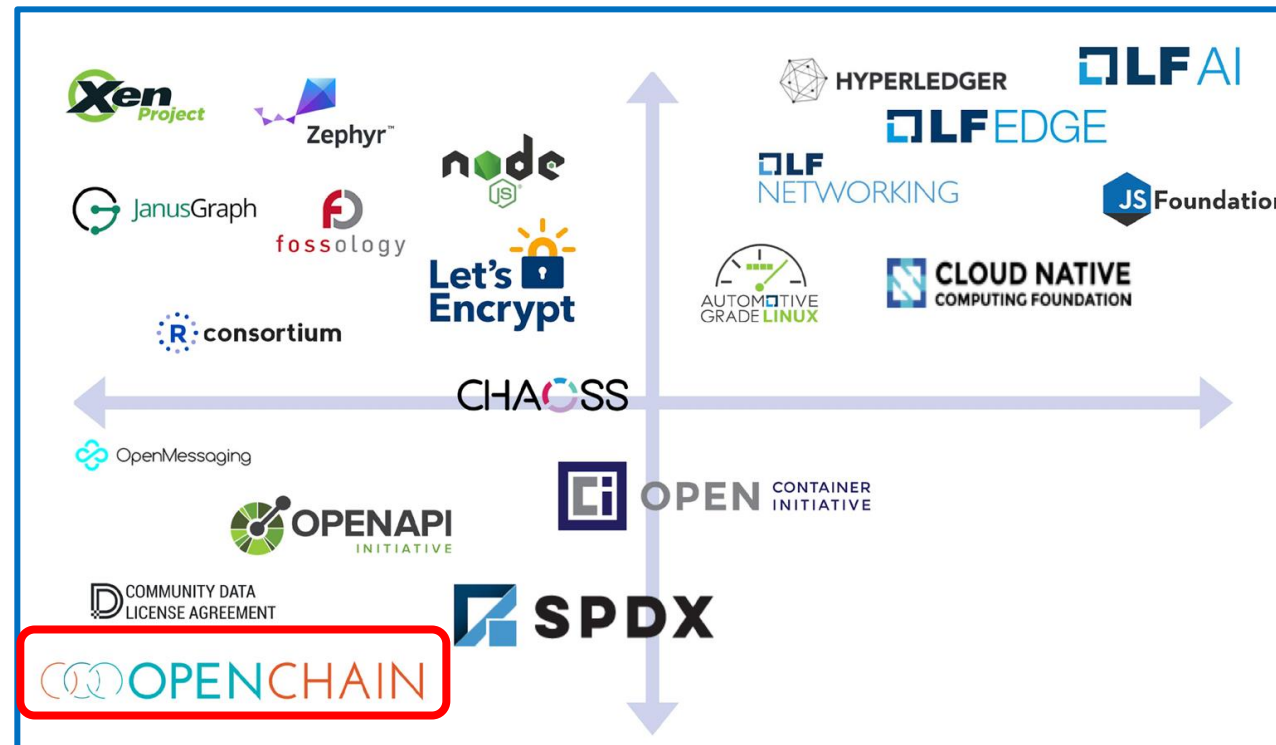
OpenChainプロジェクトの紹介

OpenChainプロジェクト BUILDING TRUST IN THE SUPPLY CHAIN SINCE 2016

信頼性があり、一貫性のあるプロセスマネジメント情報とともにオープンソースが配布されるサプライチェーンの実現を目指す、Linux Foundationのプロジェクトの一つ。

ソースコード (Code)

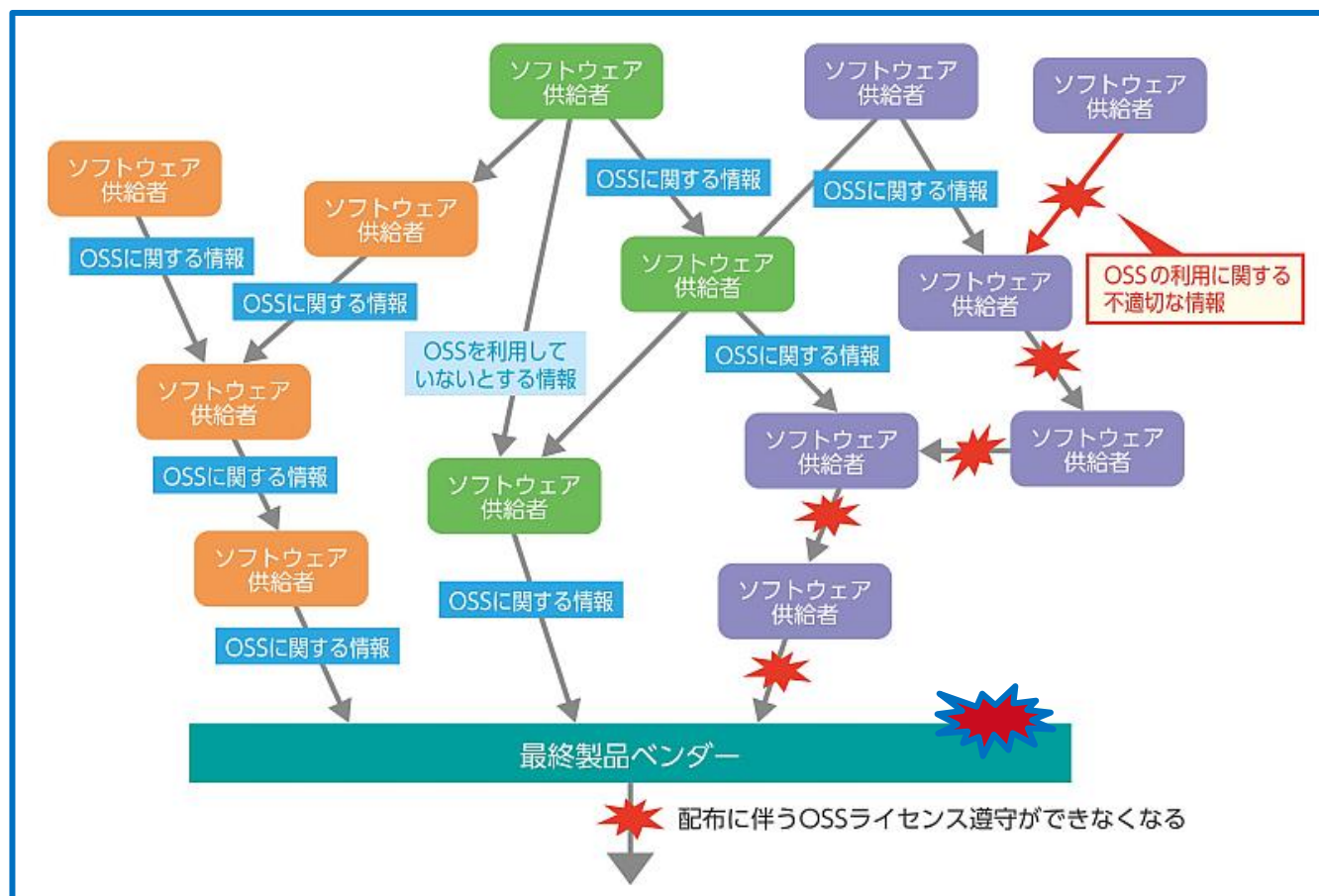
単体
(Single)



集合
(Umbrella)

仕様 (Specification)

OSSライセンスに伴うリスク



オープンソースが流通する
ソフトウェアサプライチェーン
全過程で、リスク管理が必要

OpenChainプロジェクトの3つの柱

1. 仕様 (Specification)

- 企業が組織内に確立すべきコンプライアンスプログラム（仕組み・体制等）の要件を定義
- ISO/IEC 5230:2020 として国際標準化 (2020年12月)

<https://www.openchainproject.org/license-compliance>

2. 適合 (Conformant)

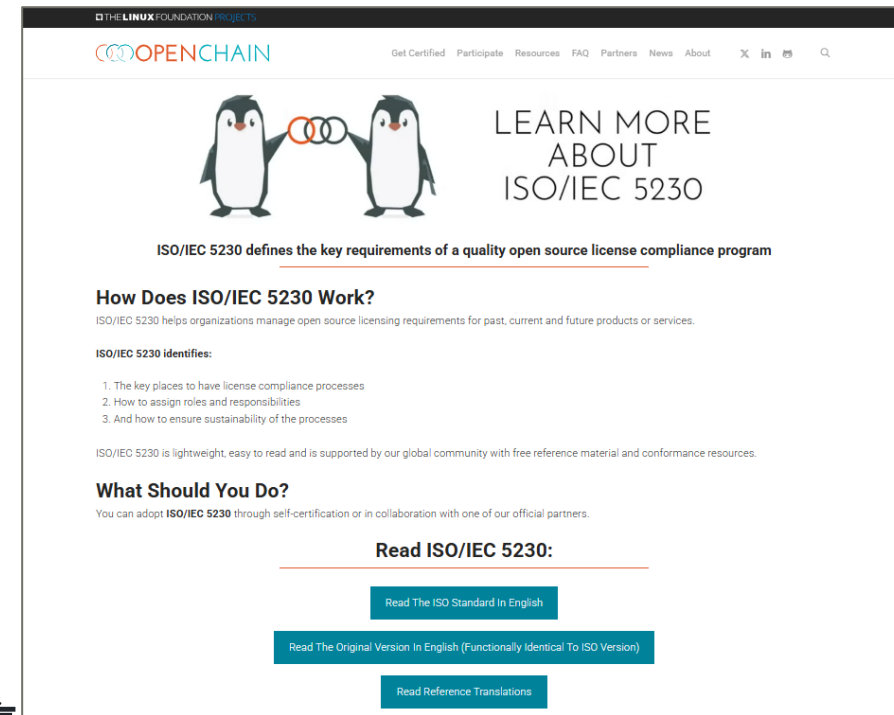
- 自己認証の場合、仕様に関するWebアンケートに回答して適合を宣言できる。第三者認証も利用可。

<https://www.openchainproject.org/get-started>

3. カリキュラム (Curriculum)

- 仕様への適合のために各組織で利用可能な教育資料集

<https://www.openchainproject.org/resources>



日本語をはじめ、英語以外の言語での参考訳をコミュニティが提供

<https://www.openchainproject.org/license-compliance>

OpenChain Spec. 2.1 >> ISO/IEC 5230:2020
















































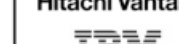















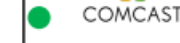


適合を宣言する組織の例




Publicly announced OpenChain ISO/IEC 5230 conformant programs, the international standard for open source license compliance:



適合を宣言する組織の例

Example Verticals Impacted by OpenChain

Automotive	Banking	Cloud	Consumer	Industrial	SaaS	Service	Silicon	Telco
 BMW GROUP  BOSCH  CARIAD  Hella Agria  HYUNDAI  HYUNDAI AutoEver  HYUNDAI MOBIS  KIA  SCANIA  TOYOTA  Woven by TOYOTA  ZOOZ ZONE	 BLOCK  KAKAO BANK  YOMA BANK  The Responsible Bank.	 Alibaba Cloud  CLOUDERA  Google  Microsoft  QCT	 HARMAN  HONOR  LG  Life's Good  oppo  Panasonic  SAMSUNG  SONY  ZTE	 FUJITSU  GE Digital  HITACHI  Inspire the Next  MOXA  SIEMENS  TOSHIBA  NEC	 BlackBerry  ByteDance  kakao  Meta  nextcloud  SAP  Uber  zoom	 Cognizant  Hitachi Vantara  IBM  Infosys  interneuron  LYRA  revenera  SAMSUNG SDS  SUSE	 arm  ASML  socionext  Qualcomm Technologies, Inc.  Western Digital	 中国移动 China Mobile  CISCO  COMCAST  ERICSSON  HUAWEI  SK telecom

 Platinum Member / Conformance Pending
  Platinum Member + ISO/IEC 5230 Conformant
  ISO/IEC 5230 + DIS 18974 Conformant

This is a snapshot based on membership and select conformant organizations currently listed on our website. Total conformant numbers are far higher.

Example: [PwC Survey shows 20% of companies in Germany with over 2,000 employees already used ISO/IEC 5230.](#)

プロジェクトのメンバー資格

プラチナメンバー

- Linux Foundationの企業会員が参加できる
- 現在25社

Platinum Members

We Are Supported By Our Platinum Members:



コミュニティーメンバー

- ML、電話会議、ワークショップ等、誰でも参加できる



サポート体制

Partner Programによるサポート体制が拡充中

Our Partner Locations



Our Partner Coverage



Law Firms:



Vendors:



Service Providers:



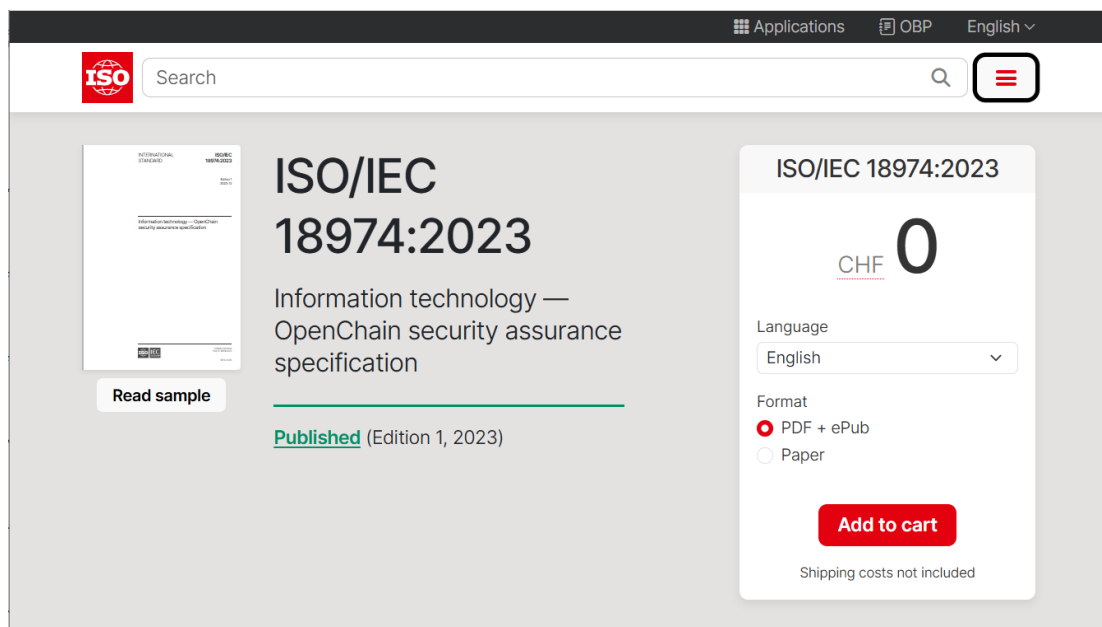
Third-Party Certifiers:



ISO/IEC 18974

OpenChain Security Assurance Specification

- 企業が組織内に確立すべきセキュリティアシュアランスプログラム（仕組み・体制等）の要件を定義
- OpenChain Spec と同様に自己認証、第三者認証により適合を宣言可能



Publicly announced OpenChain ISO/IEC 18974 conformant programs, the international standard for open source security assurance:



<https://www.openchainproject.org/community-of-conformance>

<https://www.iso.org/standard/86450.html>

OpenChain Japan WCGの紹介

OpenChain Japan Work Group 設立前夜

- 2017年8月以降、トヨタ、日立、ソニーの日本企業がOpenChainに加盟
- OpenChainの枠組みを使って面白いことしたいよね
 - 日本でコンプライアンスの意識を高めよう！
 - 日本からアジアに向かってコンプライアンスの意識を高めよう！
 - コンプライアンスに対する課題に関して情報交換しよう！
 - 日本語で議論が出来る場を設けよう！
- 仲間作りが必要だよね！？コミュニティを作ろう！

Japan WGは、日本企業同士の、日本語によるコミュニティ

OpenChain Japan Work Group 設立

- ベストプラクティスの共有や、共通課題の解決を目的として、2017年12月にソニー/日立/トヨタの3社が設立
- 国内80社/200名以上が参加し、国別WGCのモデルケースに
 - 現在コミュニケーションは主にSlackで行っており、参加人数は270名以上。
- 「日本語で議論し、日本語／英語でアウトプット」
- 8つのSubgroupが活動中



サブグループ(SC) (Chatham House Rule を適用する場合アリ)

オープンに課題を共有し、解決を図る

サブグループ	主な取り組み
Planning	Japan WG全体の活動プランの議論と、全体会合の準備を検討
FAQ	著作権やOSSライセンスについて主に初心者向けに、OSSライセンスに関するFAQを作成し公開
サプライチェーンリーフレット (Leaflet)	「オープンソースソフトウェアライセンス遵守に関する一般公衆ガイド」を作成、公開した
教育 (Education)	ソフトウェア開発者向け教育資料(コンプライアンスプログラム・バージョン)を作成した。今後、ソフトウェア開発ベンダー(ODM:Original Design Manufacturing)向けの教育資料を作成予定
SBOM (ライセンス情報sg から名称変更)	組織間のライセンス情報授受に関してのガイドラインやSPDX Lite 仕様の策定に貢献。現在は、SBOMなど、組織間のライセンス情報・ソフトウェアパッケージ情報の授受に関するガイドラインやSPDXへの仕様提案などを、動向を調査とあわせて実施
プロモーション (Promotion)	OSSコンプライアンスやOSSそのものの重要性の認知を拡大するための資料の作成やメディア・政府・産業界・学界などと連携した啓発活動など
Automation (Tooling sg から名称変更)	管理運用のためのOSSを利用して、Open Source Compliance において以下の項目の実現を目指す <ul style="list-style-type: none"> 組織に応じたワークフローの構築 省力化(オートメーション) 質の向上
OSPO	OSS推進に必要な役割の明確化と実践方法の提案を検討/TODO GroupとJapan OSPO Local Meetupとして共催 <ul style="list-style-type: none"> OSS Strategy & Hosting議論 OSPO FAQ検討



Planning : 渡邊



FAQ : 島



Education : 小泉



Promotion : 遠藤



Automation : 小保田



Automation : 忍頂寺



OSPO : 鈴木



OSPO : 大和田

全体会合 → OpenChain Japan Community Day

およそ2~3ヶ月間隔で開催し、コミュニケーションを活性化

#01	2017/12/27	ソニー	本社 クリエイティブラウンジ
#02	2018/02/22	日立	品川オフィス
#03	2018/04/19	Panasonic	Wonder Lab Osaka
#04	2018/06/13	トヨタ自動車	名古屋オフィス
#05	2018/08/31	富士通	川崎工場
#06	2018/10/31	東芝	ラゾーナ川崎東芝ビル
#07	2018/12/05	テュフズードジャパン	新宿
#08	2019/02/28	三菱電機	本社（丸の内）
#09	2019/04/18	デンソーテン	兵庫
#10	2019/07/16	富士通	蒲田ソリューションスクエア
#11	2019/09/19	オリンパス	技術開発センター宇津木
#12	2019/12/19	NEC	NEC本社ビル（田町）
#13	2020/02/18	ディー・エヌ・エー	渋谷ヒカリエ [コロナのため開催中止]
#14 ~ #25	2020: 04/23, 06/18, 10/15, 12/16 2021: 03/17, 05/26, 07/29, 10/20 2022: 01/21, 04/20, 07/29, 10/31 Zoom hosted by ソシオネクスト [オンラインのみ]		
#26	2023/02/09	日立ソリューションズ	日立大森ビル ↓ [リアル・オンラインハイブリッド]
#27	2023/05/18	NEC	玉川事業場
#28	2023/07/11	富士通	Ridgelinez（丸の内）
#29	2023/10/05	ソシオネクスト	京都事業所
#30	2024/02/28	サイバートラスト	アークヒルズ仙石山森タワー（六本木）
#31	2024/06/27	キオクシア	田町ステーションタワー
#32	2024/10/17-18	ダイキン工業	大阪梅田ツインタワーズ・サウス
#33	2025/3/3-4	トヨタ自動車	大手町オフィス



- ・ コロナ禍以降、全体会合はオンラインに
- ・ オンラインでもsg活動をベースに活発に活動
- ・ 第26回よりリアル・オンライン会合を開始
- ・ リアルでの活動活性化

OpenChain Japan WG Web Page, ML & Slack

Japan WG 活動をきっかけに、オープンソースに参加しませんか

※ニューストピックや会合のアナウンス等のフォーマルな案内は主にML、
日頃のカジュアルな情報共有やコミュニケーションは主にSlackで行っています。



Community	URL or Mailing list
Main web site	https://openchain-project.github.io/OpenChain-JWG/
Japan WG ML	japan-wg+subscribe@lists.openchainproject.org
Planning SG ML	japan-sg-planning+subscribe@lists.openchainproject.org
FAQ SG ML	japan-sg-faq+subscribe@lists.openchainproject.org
Education SG ML	japan-sg-education+subscribe@lists.openchainproject.org
SBOM SG ML	japan-sg-sbom+subscribe@lists.openchainproject.org
Automation SG ML	japan-sg-automation+subscribe@lists.openchainproject.org
OSPO SG ML	japan-sg-ospo+subscribe@lists.openchainproject.org
Slack	https://join.slack.com/t/openchain-japanwg/shared_invite/zt-2f9lbstd0-D__Jkfs_kwnyGhD0x7tTkW

空メールの
送信で参加

教育SCについてもっと詳しく

- 各企業が社内に向けてOSSのコンプライアンスに関する教育を（初めて）行なう際に、OpenChainの仕様に準じた形で行なえる教育コンテンツ（を構成するために役立つ材料）を作りました。
- 3部構成です。OpenChain のGitHubで公開中です。
 - 入門編
 - 初級編 <= 本日はこれを主に
 - 上級編（現在作成中）

改めまして自己紹介

小泉 悟（こいずみ さとる）

- オリンパスにてOSSライセンスコンプライアンスを担当
- OpenChain JWG 教育SGにてリード
- PostgreSQL ドキュメント翻訳
- Liberty EiffelのmacOS、FreeBSD、NetBSD、OpenBSDへの移植
- （大昔）FreeBSDのマニュアルページの翻訳



ありがとうございました